

# もう1回挑戦してみませんか！ 保護者を必死で受け止めた1年

京都府の日本海側、京丹後市久美浜町に、「ひととわ」がある。ひきこもり訪問応援「チーム絆」地域推進事業を担う拠点だ。「若者サポートステーション豊岡」「京丹後市黒部の居場所づくり」の実績などから、昨年、ワーカーズコープが京都府から受託した。スタッフは但馬地域福祉事業所副所長の渡邊久美子さん。1年間で継続相談者35人、電話相談も含めて本人、家族など延べ551回の接点を持った。5月中旬、東奔西走で突っ走った熱い思いを聞いた。その後、相次ぐ「ひきこもり」を問う事件をどう受け止めたか尋ねた。(共に働く(自立就労)プロジェクト 花崎昌子)

## ひきこもり訪問応援「ひととわ」

京都府最北端の丹後地域2市2町(京丹後市、宮津市、与謝野町、伊根町)が活動エリア。端から端まで車で1時間半以上かかり、圧倒的に向かいに行くスタイルをとる。5月には、宮津市社会福祉協議会、伊根町保健センター、峰山町寄り添い支援相談センター等、7回の出張相談が設定されていた。



渡邊久美子さんに聞く



いる方が多いんです。自分を表現しづらい。相手が間違っていると言えない。すごく優しく、まじめすぎるがゆえに自分がこう言うたら、向こうはどう思うだろうと気にして、人と接するのが苦手になっています。ゼミや卒論の発表等で、人前で話すのがしんどくて大学中退という方も多いことがわかりました」

## 切実な思いに直面

渡邊さんは事前に保護者と一緒に作戦を立て、「会いたい言うてる人がいるで!」と、ひきこもりの子どもに伝えてもらう。

10代、20代だと、「パンフレットを見せたら、意外と『ふーん』っていう反応で、会える場合がけっこうある促したいと思います。

ネットでは、「死ぬなら一人で死ぬ』『偏見』もって警戒する」などの暴力的な意見も散見され、当事者の意向を無視した人権侵害の「引き出し業者」や、暴力的な手段を用いた自称「支援団体」も暗躍しています。

今回の事件を契機として、こうした人権侵害や暴力がいつそう広まってしまわないよう、くれぐれも注意を

## 各機関訪問、多くの方と接点

ひととわが多くの方と接点をもてた背景を上村俊雄但馬地域福祉事業所長に聞いた。

「京丹後市以外の市町は初めて関わる機会。ひきこもり支援はチーム支援が大事だと

企画提案にも掲げた。各機関を訪問し、会議や民生委員への説明会・研修会にできるかぎり参加。渡邊さんの力はとても大きい」

「京丹後市以外の市町は初めて関わる機会。ひきこもり支援はチーム支援が大事だと

「京丹後市以外の市町は初めて関わる機会。ひきこもり支援はチーム支援が大事だと

「京丹後市以外の市町は初めて関わる機会。ひきこもり支援はチーム支援が大事だと

「京丹後市以外の市町は初めて関わる機会。ひきこもり支援はチーム支援が大事だと

## 相次ぐ事件

## 「わかる」とする「わかる」

川崎事件などについて渡邊さんはこう話しています。

「川崎事件の当事者の孤立感、練馬事件の家族の孤立感。『孤立を生まない』ために、支援機関だけでなく、地域全体で協力体制をつくっていかねば解決が難しい。家族、友達、近所の人…誰でもいい。誰かつながる。『再び傷つく』、

「川崎事件の当事者の孤立感、練馬事件の家族の孤立感。『孤立を生まない』ために、支援機関だけでなく、地域全体で協力体制をつくっていかねば解決が難しい。家族、友達、近所の人…誰でもいい。誰かつながる。『再び傷つく』、

労働連が事務局を務める「一般社団法人若者協同実践全国(JYC)フォーラム」は、「川崎殺傷事件の報道についての声明文」を6月3日に発表しました。以下、要旨。

## 人権侵害に注意、社会のあり方に目を 川崎殺傷事件 若者協同実践全国フォーラムが声明

「ひきこもり問題」は、人びとを排除し孤立させてしまう社会状況の問題であり、その状態で自己の存在が否定され、苦しめられてし

「ひきこもり問題」は、人びとを排除し孤立させてしまう社会状況の問題であり、その状態で自己の存在が否定され、苦しめられてし

「ひきこもり問題」は、人びとを排除し孤立させてしまう社会状況の問題であり、その状態で自己の存在が否定され、苦しめられてし

「ひきこもり問題」は、人びとを排除し孤立させてしまう社会状況の問題であり、その状態で自己の存在が否定され、苦しめられてし

「ひきこもり問題」は、人びとを排除し孤立させてしまう社会状況の問題であり、その状態で自己の存在が否定され、苦しめられてし

「ひきこもり問題」は、人びとを排除し孤立させてしまう社会状況の問題であり、その状態で自己の存在が否定され、苦しめられてし

「ひきこもり問題」は、人びとを排除し孤立させてしまう社会状況の問題であり、その状態で自己の存在が否定され、苦しめられてし

「ひきこもり問題」は、人びとを排除し孤立させてしまう社会状況の問題であり、その状態で自己の存在が否定され、苦しめられてし